

# Child Saving

子どもを守る

19 渡辺美佐子さんと加藤良輔さんの対談



**加藤良輔**  
(かとう・りょうすけ)  
日本教職員組合中央執行委員長。1975年から神奈川県内の教職員として勤める。2005年4月から神奈川県教職員組合執行副委員長、07年4月同委員長。12年4月より現職。

が狭められているような今の風潮には恐怖を覚えます。  
加藤 最近、よく耳にする言葉「積極的平和主義」にも違和感があります。ノルウェーの政治学者で、平和学の創始者、ヨハン・ガルトゥング博士は、戦争や暴力のない状態を「消極的平和」、戦争や紛争を生みだす貧困や格差などの社会構造の解消を「積極的平和」と定義しています(図表2)。貧富の差が広がり、不公平な社会に



## 「戦争が起こらない社会」に向けた本来の「積極的平和主義」とは？

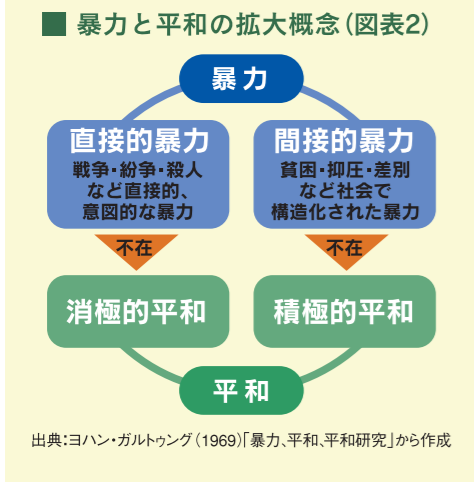
「子どもを守る」シリーズ 19

来年、戦後70年を迎える日本。戦争体験者が減少し記憶の風化が進む中、子どもたちに再び戦争の道を歩ませないよう、おとなは何をしなければならないか。被爆者の手記や詩の朗読劇を30年間続けてきた女優の渡辺美佐子さんと、学校での平和教育に力を注いでいる日本教職員組合の加藤良輔さんにお話いただいた。

■ 世界報道自由ランキング2014 (国境なき記者団) (図表1)

順位	国名称	前年比
1位	フィンランド	同
2位	オランダ	同
3位	ノルウェー	同
4位	ルクセンブルク	同
5位	アンドラ	同
~~~~~		
33位	イギリス	-4
35位	スペイン	+1
39位	フランス	-2
46位	アメリカ	-14
49位	イタリア	+8
50位	台湾	-3
57位	韓国	-7
59位	日本	-6
61位	香港	-3

【日本の順位の推移】  
17位(09年)→11位(10年、民主党政権が記者会見オープン化を実施)→22位(12年、原発事故後初調査)→53位(13年)→59位(14年、「秘密保護法」成立後初調査)



お問い合わせ先 | JTU 日本教職員組合  
03-3265-2171 http://www.jtu-net.or.jp

「夏の会」では、7年前から子どもたちに伝えることに重点をおき、劇の最後の部分は、できるだけ地域の子どもたちに担当してもらいま

そのことを命ある限り伝え続けてい

なると人々の不満が募り、内紛や戦争につながることは歴史が証明しています。  
そういう意味からすると、「積極的平和主義」とは、公平な社会をめざして、社会保障の充実など、貧困や格差を改善、解消する方向に歩んでいくことだと考えます。最近頻出する「積極的平和主義」は、日本語訳の表記は同じでも、概念は平和学のそれとは全く別のもので(※2)。

無念と犠牲の上に築き上げた今の平和を守り、語り継ごう

加藤 今の日本は、諸先輩方が、先の大戦に対する痛切な反省のもと、つくり上げてきたものです。戦争体験者がどんどんいなくなる。これからは、私たち世代が、次世代に語り継ぐと同時に、世界に発信し続けていかなければならないと思います。

「子ども応援便り」編集長 高比良美穂

渡辺 原爆をテーマにした朗読劇を続けて30年になります。唯一の被爆国である日本の演劇人にできることを、という演出家 木村光一さんの趣旨に賛同して参加しました。当初は、長崎と広島の様々な記録を6人の女優で語る形でした。7年前、母体となっていた劇団が解散した際、一緒にやってきた女優18人で、「戦争を語り継ぐために続けよう」と、「夏の会」を立ち上げました。原爆で家族を失った方の手記や詩などを、主に夏の間、各地で朗読しています。

渡辺 社会のムードというのは本当に怖いものです。うちの兄は3人も兵隊に行きましたが、送り出す母は涙一つこぼしませんでした。

加藤 中国戦線へ行った父は、戦争の話を含くしませんでした。話せないほどの体験をしたのだと、子ども心にも感じていました。トラウマがあったのか、戦争時の体験とつながる食材は食べませんでした。真に恐ろしい戦争体験は、語れないものかもしれません。だからこそ先人たちは、ある意味がけで今の平和な日本をつくりあげたのだと思います。

加藤 同じ思いで、退職した女性教職員の方々が、学校で戦争体験を語り継ぐ活動をしています。日本教職員組合には、「教え子」を再び戦場に送るな」というスローガンがあります。朝鮮戦争の日本への波及が心配される中、養護教諭の方が提唱し、1951年に採択されました。教え子を戦場に送り、多くの犠牲を払うことになった先の大戦を、なぜとめられなかったのか。なぜもつと大きな声を上げられなかったのか。そういう反省にたつてきたものでした。

渡辺 被爆50年の時、テレビ局の企画で長崎の原爆を造った工場がある米・ワシントン州ハンフォード地区(※1)を訪ねました。そこで、驚くべき光景を目の当たりにしました。高橋生(高橋)のバスケットボールチームのジャンパーの背中のプリントが、原爆の巨大なきのこ雲だったので。ショックでした。「原爆の威力は世界一」「原爆が戦争を終わらせた」と、誇らしげに言うのです。その後、地域内の図書館で朗読劇を行うと、その高校生たちも涙をこぼしました。はじめて、「原爆がひどいことをした」と気づいたのでしよう。知らないということの怖さを痛感しました。

加藤 中国戦線へ行った父は、戦争の話を含くしませんでした。話せないほどの体験をしたのだと、子ども心にも感じていました。トラウマがあったのか、戦争時の体験とつながる食材は食べませんでした。真に恐ろしい戦争体験は、語れないものかもしれません。だからこそ先人たちは、ある意味がけで今の平和な日本をつくりあげたのだと思います。

渡辺 社会のムードというのは本当に怖いものです。うちの兄は3人も兵隊に行きましたが、送り出す母は涙一つこぼしませんでした。

渡辺 被爆50年の時、テレビ局の企画で長崎の原爆を造った工場がある米・ワシントン州ハンフォード地区(※1)を訪ねました。そこで、驚くべき光景を目の当たりにしました。高橋生(高橋)のバスケットボールチームのジャンパーの背中のプリントが、原爆の巨大なきのこ雲だったので。ショックでした。「原爆の威力は世界一」「原爆が戦争を終わらせた」と、誇らしげに言うのです。その後、地域内の図書館で朗読劇を行うと、その高校生たちも涙をこぼしました。はじめて、「原爆がひどいことをした」と気づいたのでしよう。知らないということの怖さを痛感しました。

加藤 中国戦線へ行った父は、戦争の話を含くしませんでした。話せないほどの体験をしたのだと、子ども心にも感じていました。トラウマがあったのか、戦争時の体験とつながる食材は食べませんでした。真に恐ろしい戦争体験は、語れないものかもしれません。だからこそ先人たちは、ある意味がけで今の平和な日本をつくりあげたのだと思います。



**渡辺美佐子**  
(わたなべ・みさこ)  
俳優、一児の母。1953年に映画「ひめゆりの塔」でデビュー。82年より28年間で通算600回以上に渡り一人芝居「化粧」を上演。97年に紫綬褒章、04年には旭日小綬章を授章した。

「子どもを守る」シリーズへのご意見ご要望をお寄せください！  
メールアドレス: mamoru@kodomo-ouen.com

※1 1943年にアメリカに進められた核開発計画「マンハッタン計画」の拠点の一つ。今もなお、放射性物質による汚染問題に直面している。  
※2 「Proactive Contributor to Peace」と「Positive Peace」に訳される。ガルトゥング氏の言う積極的平和は後者を指す。  
※3 日本図書センター出版の『日本の原爆記録』第19巻 原爆詩集 広島編と第20巻 原爆詩集 長崎編のこと。